



妻沼中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校

電話 048(588)1361

FAX 048(589)0496

令和8年8月31日

第10号

「奮いたて！妻沼西中生」

校長 清水 利浩

妻沼西中学校の校長室に1枚の銅のプレートが保管されています。このプレートは、西中のプールの竣工式（1970年）で、本校第2代の校長先生である須田治郎先生が述べた言葉です。



プレートと現在のプール R8.8.21

奮いたて妻沼西中生

オリンピックの歴史上、日本選手が競泳に参加したのは、1920年からでした。この時、100m自由型に初出場の2選手は、予選で失格でした。しかし、1924年、1928年と出場するたびに、しだいに成績はのぼり、上位入賞者も出ま

した。1928年のアムステルダム大会では、海軍の水兵さんだった鶴田義行選手が、200m平泳ぎで日本人として初優勝、800mリレーに第2位、100m自由型に高石勝男選手が第3位、背泳では当時、中学4年生だった入江稔夫選手が第4位にはいり、「日本の水泳もなかなか強いぞ」。との印象を与えました。

1932年のロスアンゼルスにおける第10回大会での成績は、実に素晴らしいものでした。男子競泳6種目中、400m自由型をのぞく全部に優勝して、一躍「水泳日本」の名を世界にとどろかせました。1500m自由型に、15才の北村久寿雄選手が優勝し、17才の牧野正蔵選手が第2位。100m自由型に、16才の宮崎康二選手が優勝。100m背泳では清川正二・入江稔夫・河津憲太郎の三選手で3位までを独占しました。このように若い選手が大活躍する一方、数え年30才の鶴田義行選手は、200m平泳ぎにまた優勝しました。競泳の最後をかざる800mリレーに、日本チームは、従来の記録を38秒近くも短縮した8分58秒4という世界記録で優勝をかざりました。

このプール建設の当初から、妻沼西中学校整備後援会に、特にお願いして、プールサイドに立てていただいた3本のポールのうち2本は、8分58秒4にちなんで、地上8m58cmとしました。記録は破られるためにあるといわれていることにかんがみて、先輩の記録をつぎつぎと破る力をつけてほしいとの願いから、真ん中のポールは、やや高くして地上10mとしました。真ん中のポールには、日の丸をかかげようと思います。これは、日本人であることに誇りをもって努力し、プールを作ることにお骨折りくださった大勢の方々のご恩を考えて、自らきたえてほしいと念じてのことです。

奮いたて！ 妻沼西中生。 多くの方々の期待にこたえるよう 大いに努力せよ
1970年7月13日 竣工祝賀式における学校長謝辞 根岸道之助 之を刻

このプレートは、プールの壁面にはめ込まれていたものだと思います。そして、3本のポールとともにこのプレートは、いつの頃かの改修時に外され、今日に至っています。そして、西中のプールは、現在は使われていません。しかしながら、須田校長先生が、妻沼西中生に対して述べた思いは、現在の私たちも、しっかりと受け継ぐべきものであると思います。

さあ、奮いたて！ 妻沼西中生。多くの方々の期待にこたえるよう 大いに努力せよ。

学校生活の様子



【株式会社春日井様訪問】

バスケットボールの寄付をいただきました。妻沼東中学校と合同で感謝状と色紙を届けに伺いました。ありがとうございました。



【暑さ対策啓発事業】

3年生最後の大会となる学校総合体育大会熊谷市予選が行われました。日頃の練習の成果を発揮することができました。



【前期後半がスタート！】

夏休みが終わり、前期後半がスタートしました。全校朝会では、校長先生から「奮いたて！妻沼西中生」と題したお話がありました。また、夏休み中の大会や活動などで活躍した生徒の表彰も行われました。



【夏休みのくまなびスクール】

期末テストのに向けて、みんな黙々と真剣に学習に取り組む姿が見られました。



【クリーンアップ運動①】

花壇や校庭など、縦割り班で草むしりや草刈り機で刈った草の片づけを行いました。



【クリーンアップ運動②】

今回のクリーンアップ運動では、備前堀の河川清掃も行いました。みんなで協力してごみ拾いを行いました。

※是非、妻沼西中学校ホームページをご覧ください。
右のQRコードから見るができます。

